

# 飯田市 歴研 ニュース



News-Letter NO.19  
発行日 2005年12月1日  
発行 飯田市歴史研究所  
〒395-0002  
長野県飯田市上郷飯沼3145  
電話 0265-53-4670  
ファクシミリ 0265-21-1173  
E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

## 古島敏雄著作集を復刊

本年は、飯田市出身の農業史学者古島敏雄の没後10年にあたります。歴史研究所では、彼の業績をテーマとした研究集会や、読書会の開催など、様々な事業を企画・実施しています。(歴研ニュースNo.16～18参照)今回この事業の一環として、『古島敏雄著作集』の復刊に取り組みました。

この『古島敏雄著作集』は、かつて(財)東京大学出版会から1974年～1984年の間に、全10巻の構成で刊行されたものです。農村史、農業技術史の分野で孤高の業績であり、歴史研究者には必読の書といわれながら、残念なことに長期にわたり絶版となっていました。

歴史研究所では、ご遺族をはじめ、(財)東京大学出版会のご協力のもと、復刊に取り組み、このほど完成しました。

古島の研究の舞台であった飯田・下伊那地域の歴史研究を市民、学生、研究者の協働によって行い、地域創造を促進するために、『著作集』復刊は重要な役割を果たすと考えます。



### 著作集の内容

- 第1巻 「徭役労働制の崩壊過程」
- 第2巻 「日本封建農業史 家族形態と農業の発達」
- 第3巻 「近世日本農業の構造」
- 第4巻 「信州中馬の研究」
- 第5巻 「日本農学史」
- 第6巻 「日本農業技術史」
- 第7巻 「共同体の研究」
- 第8巻 「地主制史研究」
- 第9巻 「近代農学史研究」
- 第10巻 「地方史研究法」

近世の御館被官関係について解明した第1巻や、中馬を利用した商品流通の発展過程を追及した第4巻は、伊那地方全域が舞台となっています。

そのほかの巻でも虎岩村(飯田市)の村落構造や家族制度、野底山(同)の山林利用、大河原村(大鹿村)や上穂村(駒ヶ根市)の農業技術など、様々なテーマに関連して伊那地方の事例が豊富に含まれています。

### 100セット限定 販売



- 仕様 100セットのみの限定復刊  
A5版上製本 10巻セットで専用箱に収納
- 販売価格 1セット50,000円(税込、セット販売のみ)
- 購入者特典1  
旧刊に付録された月報を再録し、更に現在の歴史研究者による新原稿を収録した『古島史学の現在』を発刊します。これを著作集購入者全員に贈呈します。(12月中旬刊行予定、著作集を先に購入された方には後日お送りします)
- 購入者特典2  
古島敏雄ご夫妻が亡くなられた際、当時の門下生らが執筆した追悼文集『私たちに刻まれた歴史』(非売品)を、東京大学大学院農学生命科学研究科岩本純明教授のご厚意により、著作集購入者先着35人まで贈呈します。
- 遠方の方にも送料実費にて販売します。お問い合わせください。

1月 28(土)  
29(日)

シリーズ：古島敏雄の人と学問②  
**戦後農地改革と古島史学**

講師 **岩本 純明 さん**  
(農業史・東京大学教授)

戦後農地改革の一時期、古島氏は長野県下農村を精力的に歩かれました。そこで得た知見をふまえて、戦後地主制史研究はスタートしたのです。

農地改革過程で、古島氏は農村社会の何を問題としたのか？その理解から、われわれは何を学ぶべきか？本講義では、古島氏の農地改革理解を再検討するとともに、農地改革の内容、それを可能とした条件、農地改革の成果と現代的意義などを、農地改革の必要性が指摘されながら実現の難しい開発途上国の実態と比較しながら検討します。



8月の研究集会で講演する岩本純明さん。  
(シンポジウム「古島敏雄の人と学問」)

■時 間

1日目(土曜日) 13:30~17:00

2日目(日曜日) 10:00~14:30

※90分の講義を4回2日間にわたって行います。

■会 場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷支所庁舎)

3F会議室

■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)

※2日目の昼休みには、講師を囲んでの昼食交流会を行います。(会費1000円)

■お申込方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは 住所・氏名・電話番号を明記してください。

## 月例研究会

月に1度研究所員が研究内容を報告し、参加者が自由な意見交換をする研究会です。事前の申し込みは不要ですので、気軽にご参加下さい。

12月

### 明治中期の村会議事

—座光寺村の記録を読む—

◆日 時 12月17日(土) 午後2時~4時

◆報告者 多和田真理子・調査研究員

◆内 容

近代地域社会の「村づくり」の過程で、どんなことが議論され、どのように村の仕組みが作られていったのでしょうか。昔の村会記録をもとに考えます。

1月

### 狂犬病と村人たち

—元文二年下伊那への流入とその情報—

◆日 時 1月14日(土) 午後2時~4時

◆報告者 前澤 健・調査研究員

◆内 容

江戸時代中期、日本に入ってきた狂犬病。本報告では、下伊那の人々はその未知なる感染症にどのように対処したのか考えます。

★いずれも歴史研究所研修室(上郷支所庁舎2階)で行います。

## 歴研ゼミだより

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指します。

### 10月・11月の内容

近世史ゼミ

10月4日 下伊那における天明の飢饉

10月23日 「米納二付南山三拾六ヶ村歎願記録」

11月1日 平沢清人「下伊那地方の養蚕」を読む

11月15日 諸国巡礼途中に飯沼南にて病死した比丘尼の郷里との手紙のやりとり

11月29日 「飯田萬年記」よりみた城下町の形成

■テーマ 近世下伊那の民衆生活史

■対 象 一般(どなたでも)

■開催日 隔週火曜日

■時 間 午後7時~8時40分

■担 当 多和田雅保(研究員)

近現代史ゼミ

10月13日 中村政則『労働者と農民』工場法の制定

10月27日 新会員を迎えて

11月10日 上久堅公民館「戦争体験を聞く集い」に参加。

11月24日 『聞き書き・飯田町の暮らしII』編集作業

■テーマ 地域社会史入門~飯田町の記憶を探る

■対 象 一般(どなたでも)

■開催日 隔週木曜日

■時 間 午後7時~8時40分

■担 当 田中雅孝(調査研究員)

現代史ゼミ  
(英語文献講義)

10月12日 Introduction はじめに

10月26日 Poverty 貧困

11月30日 The post-1945 international economic order  
1945年からの国際経済秩序

■テーマ 地域社会とグローバリゼーション

■対 象 高校生以上

■開催日 隔週水曜日

■時 間 午後7時~8時30分

■担 当 鬼塚 博(研究員)

★各ゼミとも歴史研究所研修室で行っています。お気軽にご参加ください。

# 職場体験学習

高校生が歴史研究所の仕事にチャレンジ!

11月11日(金)、松川高等学校の1年生6人が、職場体験学習として歴史研究所を訪れました。

研究所の概要、史料調査の流れについての簡単な説明の後、実際に仕事に取り組んでもらいました。

午前の作業は、マイクロカメラを使っての撮影とマイクロフィルムの紙焼です。初めてみる機械にちょっとドキドキ。きれいに撮れているかな?読みやすくプリントできたかな?注意深くチェックしながら、仕事をこなしてくれました。

午後には史料目録の作成にチャレンジしてもらいました。主に近代の書籍が多かったのですが、旧字体で書いてあったり、ひらがなが崩し字になっていたり、表題を読むだけでもけっこう難しいのです。

1日仕事をしてみて、どうでしたか?「思ったより大変でした」「思ったより頭を使ったけど楽しかった」「全然違う感じの想像をしていたけど、おもしろかった」などなど。働くことの責任の重さや、楽しさ、やりがいなどを感じてもらえたでしょうか。みなさんの真剣な様子に、私たちスタッフの気持ちも引き締められました。

この体験を通じて、歴史研究所がどんな場所か、少しでもわかっていただけると嬉しいです。また歴史のことで知りたいこと、調べたいことがあれば、気軽に足を運んでください。

みなさん、お疲れさまでした!



史料目録の作成にも真剣に取り組みました

## 研究助成を受けました

歴史研究所の研究活動に関して、2つの財団から助成金を受けました。資金を有効に利用し、活動をより充実させるよう取り組みます。

### 三島海雲記念財団 学術奨励賞

(2005年7月～、1年間)

「満州移民送出過程と飯田・下伊那の地域社会」

飯田・下伊那をフィールドに、1930年代から終戦直後までに実施された満州移民と、これを送出した地域社会との関係について、史料収集・分析を行います。文献史料とオーラル・ヒストリー資料とを有機的に組み合わせる分析を目指します。

### トヨタ財団 研究助成

(2005年11月～、2年間)

「飯田・下伊那地方の歴史情報に関する調査研究と活用システムの構築 —生活世界の再生にむけて」

- (1) 史料情報の収集と調査  
飯田・下伊那の歴史資料を利用するための基盤固めを行います。
- (2) 国際シンポジウム開催  
中国・韓国の歴史研究者とシンポジウムを行い、飯田・下伊那地域の歴史的特性を東アジアレベルで位置付ける比較研究に取り組みます。

## 近現代史ゼミナール

近現代史ゼミで、毎年企画している他地域でのフィールドワーク。今回は岡谷市で実施しました。

### 近代化遺産の町並みをめぐる 製糸都市岡谷のフィールドワーク



旧山一林組製糸事務所 現在は「おかや絹」を利用した機織りが体験できる工房となっています

近現代史ゼミでは「飯田町の聞き書き」調査を、「歴史的景観」と結びつけるという問題意識から共同研究を進めています。今回は「近代化遺産」という観点から地域景観をとらえる取組が進んでいる製糸都市岡谷のフィールドワークを9月24日に行いました。

岡谷蚕糸博物館をはじめ、旧岡谷市庁舎、製糸家山一林家住宅、片倉謙太郎生家、旧片倉製糸事務所、旧山一林組製糸事務所、上諏訪繭倉庫と見学しました。旧山一林組は丁度、ゼミで読んでいる中村政則『労働者と農民』でも触れていますが、戦前では最大の製糸労働争議が起きた製糸場でもあり、感慨深いものがあります。また、蚕糸博物館では製糸女工経験者からの聞き取り調査をしており、学ぶことがあると思えました。

他の都市の取り組みにも学びつつ、飯田でも「近代化遺産」の見直しを進めることの必要性を感じて帰途につきました。(田中雅孝調査研究員)

国が行っている新しい文化財保護制度「文化財登録制度」。この制度は、「文化財指定制度」に比べ、文化財を自由に活用できるなど、緩やかな保護制度となっています。飯田・下伊那地方で初めて上記2件が原簿へ登録されました。また、どちらも義務教育の校舎としては、県内初の登録です。

▶ 追手町小学校校舎 昭和4年に建てられた、鉄筋コンクリート造3階建校舎です。昭和初期の優れた意匠を見ることができます。昭和6年建築の同校講堂も登録されました。

◀ 旧山本中学校校舎 昭和24年建設の木造平屋建の校舎2棟。当時の地方における学校校舎の姿を良く留めています。



歴研日誌 10月・11月

10月

- 1日 上村・南信濃村、飯田市に合併
- 4日 近世史ゼミ
- 8日 熊谷元一さん聞き取り調査
- 12日 現代史ゼミ
- 13日
  - ・座光寺史料調査会
  - ・近現代史ゼミ
- 18日 近世史ゼミ
- 20日 文献史料保存活用講習会(県立歴史館)に参加
- 22日 月例研究会「地域のお組合の変化を考える」(鬼塚研究員)
- 26日
  - ・座光寺史料調査会
  - ・北沢小太郎氏史料調査開始
  - ・現代史ゼミ
- 27日
  - ・下伊那教育会蔵大久保文書調査
  - ・原彰一氏蔵史料調査
  - ・近現代史ゼミ
- 28日 川路支所文書所在調査

11月

- 1日 近世史ゼミ
- 2日
  - ・古島敏雄著作集(復刻版)販売開始
  - ・トヨタ財団研究助成金贈呈式

- 5日
  - ・熊谷秋穂さん・筒井重雄さん聞き取り調査
  - ・学会報告"The Japanese Agricultural productivity growth and the Russo-Japanese War"(Now England Association for Asian Studies, Bentley College)(鬼塚)
- 9日 松岡町(福井県)文化財保護委員会が視察
- 10日
  - ・座光寺史料調査会
  - ・近現代史ゼミ
- 11日 松川高校生徒が職場体験学習
- 15日
  - ・研究会 "Hidden Stratification in Japan's Youth Labor Market" (Harvard University) に出席(鬼塚)
  - ・近世史ゼミ
- 16日 日本友和会が訪問
- 17日 研究会"Japanese Public Culture Study Group" (Harvard University) に出席(鬼塚)
- 19日・20日 飯田アカデミア2005第4回講座「都市・建築にとって近代とは何であったか」(講師：鈴木博之・東京大学教授)を開催
- 24日
  - ・座光寺史料調査会
  - ・市民大学講座講演(鬼塚)
  - ・近現代史ゼミ
- 25日 勝野憲治さん聞き取り調査
- 29日
  - ・近世史ゼミ
  - ・今村久さん聞き取り調査
- 30日 現代史ゼミ

12月・1月のスケジュール

2005年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	英 <sup>7</sup>	現 <sup>8</sup>	9	10
11	12	近 <sup>13</sup>	14	15	16	月 <sup>17</sup>
18	19	20	英 <sup>21</sup>	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2006年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	近 <sup>10</sup>	英 <sup>11</sup>	現 <sup>12</sup>	13	月 <sup>14</sup>
15	16	17	18	19	20	21
22	23	近 <sup>24</sup>	英 <sup>25</sup>	現 <sup>26</sup>	27	あ <sup>28</sup>
あ <sup>29</sup>	30	31				

開所日     休所日    あ…アカデミア    近…近世史ゼミ  
 開所時間 午前9時～午後5時    月…月例研究会    現…近現代史ゼミ  
 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)    英…英語でよむ現代史ゼミ

